
家庭教師ヒットマンREBORN! 自由な風、来る！～改～

難波 壱

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

家庭教師ヒットマンREBORN！ 自由な風、来る！〜改〜

【Nコード】

N6945Y

【作者名】

難波 壱

【あらすじ】

『家庭教師ヒットマンREBORN！ 自由な風、来る！』の改版です。

風間南は交通事故に巻き込まれ、死んでしまった。しかし神の手違いだっただため『転生』することになった！転生先は『家庭教師ヒットマンREBORN！』の世界！！面倒くさがりや&自由過ぎる性格の南はどうするか！？

南の第二の人生が幕を開ける…

Strardinariente 1 登場人物！〜1〜

カザマミナミ
風間 南

性別 女

年齢 12

身長 165cm

体重 45kg

一人称 オレ

誕生日 9月7日

性格 自由、冷静、興味ないと全然反応を示さない、面倒事が嫌い、仲間は人一倍大事にする

髪の色 茜色

目の色 黒

髪型 ショートカットで、毛先が外側にハネている

目の形 フランと同じだが、目の下の はない

ファッション 黒、白、青、緑、赤、などの男モノ系

アクセサリー 金属（銀色のみ）、黒や白っぽい色のモノ

（シンプルなモノ）

ピアスを両耳3つ付けてる

必需品 ケータイ、財布、iPod touch、リングペンダント、小型ノートパソコン（電子辞書サイズ）

十雅^{トオガ}（神）

性別 男

年齢 不明（本人は『3万年以上は生きてると思うんだけどなー』
と言った）

身長 175cm位（南の予想）

体重 不明

一人称 オレ

誕生日 不明

性格 前向き、好奇心旺盛で思ったことはすぐに行く、余計なことを言うことが多い

髪の色 金と銀が混ざったような色

目の色 空色

髪型 南と同じ位のショートカットだが、天パ

ファッション ラフな服装

アクセサリー 特にない

必需品 特にない

ヤマシタ サキ
山下 咲

性別 女

年齢 12

身長 148cm

体重 44kg

一人称 私

誕生日 12月15日

性格 明るい、誰にでも優しい、無邪気、自分では気づいていない
が自分第一で自分勝手

髪の色 茶色

目の色 茶混じりの黒

髪型 ロング（腰あたりまでである）だが、いつもはお団子にしている

ファッション 清楚系（特に白、薄ピンク）

アクセサリー かわいいものが好き

必需品 ケータイ、ポーチ（くし、鏡など）etc

名前の由来を話しておきます。

まず、主人公の『風間南』。

『南』は男でもありそうな名前にしたかったからです。

『風間』は…。

三文字がいい、と思って、そこからは何となく…。

『十雅』は…。

『神』＝『GOD』（逆から読む）『ゴッド』（何かがあった）

『十雅』です。

何があったのかは…。

私の気まぐれでこうなりました。

そして『山下咲』。

これも何となくですね。

あるとしたら、名前順とかいなる時に後ろの方にさせたかったんです。

『や』だと南の苗字、『風間』と離れるので。

こんな理由があつてこのような名前にしました！

これからも新キャラ出す時に由来を話していこうと思います

Episode 01 むかつく神と会っ!

オレの名前は風間南。

性別…女。

なつたばかりの中学1年…とはいっても私立の小学校から中学になっただけだからあんま変わんねエかな。

今は、ズボンの制服着て、カバン持って信号待ち中。

あ？なんで女なのにズボンの制服かって？

んなモン、スカートなんて着たくねエからに決まってるんだろ！

あ、信号が青になった。

「ふう…」

オレはゆっくりと信号を渡り始める。

メンドクサイ。何もかもが。

学校行って何になる？

オレには何にもならない。

…もう、アイツはいないから……。

「…つまんねーの」

そう、呟いた時だ。

オレは見事に巻き添えをくらい、どれだけのスピードをだしていたのか、数メートル先まで飛ばされた。

「キヤアアアツツ！！！！」

「おいつ！ 意識はあるか！？」

「き、救急車を呼べ！！！」

オレの近くでうるさい声がする。

あー、意識はあるよ…。

??この赤い血みみたいな液体は？

あ、オレの血？

そつだよな、巻き添え食らったもんな…。

死ぬのかな…。

ま、いつか。

悲しむ親はとつくの昔に死んだし…。

それに、親はオレが死んでも喜ぶだろうし…。

ああ…これでアイツのところに逝ける…？

思い出す…今までの人生を…。

…懐かしいな……。

「おい！！ 死ぬなよ！」

「大至急来てください！！」

ああ、救急車、呼んだのか…。

でも…。

オレは眠いから…。

「……きろ……起きろ、風間南!!」

「……」

起きたけど、知らない声なので寝たふりだな。

「起きてくださいよ。。」

じゃないと、オレはずっとオマエを呼ばなきゃいけないんだ

よ

……それはしつこいな。

「…なんだよ」

「おっ ようやく起きたか」

目を開けるが、やはり知らない男。

髪の色は金と銀が混ざったような綺麗な色で、目は空色。

外人か…？

「で？誰だよテメエは」

「ん？神だ！」

「冗談はいいから誰だよ」

「だーかーらー！！か・み・さ・まー！！！！」

.....は？

「...信じてねエって顔してんな...」

「アタリマエ。」

どこにいきなり『神』つつわれて信じる奴がいるんだよ」

「え...？案外いるぞ？」

「...本当にそんな奴いたら見てみたいな」

「まっその話はおいとして。」

なんでここにいるか分かるか？」

「こっつつわれても.....」。

なんもない、あたり一面真っ白。

来たことが無ければ、見たことすら無い。

真っ白過ぎて天井があるのかも分からない。

あ……。

「死んだ……からか？」

「おお　！オマエは優秀だな！！正解だ」

「やっぱりなあ……。」

「んで、オレになんか用？つつかこご下」

一番疑問に思っていることを聞いてみた。

「ここは……まあ、狭間みたいな場所だ。

神と、神が許可した者した入れねーんだぜ！」

あー、こーやって『自分は本物の神様です』と伝えようとしてんのか…。

残念、オレにその手は効かねーよ。

「反応薄いな…まあいいけどよ」

「で、どうして死んだからって狭間なんかにいるんだ？」

天国なり、地獄なりに早く連れてけよ」

オレとしては、アイツがいる場所希望だな。

「ああ、じゃあ説明しないとな……悪イ」

…いきなり頭を下げた。

「何が？」

するとこの男はバツの悪そうな顔をし、こう言った。

「オマエが死んだの、オレの手違いなんだわ」

……。

「さ、殺気を収めてください……」

今度はビクビクしながら言ってきた。

「あのさー、そんなの無理に決まってるよな？」

勝手に殺されたのに、さらに謝罪の気持ちが入ってない謝り方。

…ケンカ売ってんのか、このクソ野郎？」

オレは満面の笑みで言ってやった。

目は笑ってないけどな。

「じつごめんなさいイイ」

男はとっさに土下座した。

うん、正しい判断だな。

「それでいい。ずっとそのままにいる」

「ハイ…」

「で？オレはこのままよく分かんねェこの真っ白な世界で生きていくのか？」

「いえ…転生してもらいたいのですが…」

は…？

転生？

よく小説とかである、あの転生か？

「なんでだよ」

「普通喜ぶ場所だと思いますが…」。

理由は、あなたは本来まだ生きているので、天国にも地獄にも逝けないんです」

逝くって…。

「なので、ほかの…つまり、さっきまで居た世界とは別の、元から“風間南”という人間が存在しない世界にいつてもらいます」

「オレが…元からない世界？」

「ハイ…そうすればあなたは生きられますし、オレも面倒なことしなくて済みますしね」

てへっ、と右手を頭に当てながら話す男。

ピキイッ！

あ…オレの中の何かが切れた。

「それで、行く世界なのですが…って、え!?

やめてください…。

ぎゃああああああっっっ!…!…!…!

「ん？どこの世界に行くんだ？」

オレは、全身ボッコボコになった男に向かって聞いた。

なんでこんなにボッコボコになってんだろ？な。

笑えてくる。

「か…『家庭教師ヒットマンREBORN！』^{かてきよー}^{リボーン}の世界です…」

「！？リボーン！？あれはマンガの世界だぜ！？？」

「はい……ダメですか……？」

男はビクビクしながら聞いてくる。

「…メンドクせーけど、いいぜ…原作も知ってるしな」

知ってる、つってもせいぜいジャンプで読んで、小説はレンタルで読んだ程度だけだな。

だから正確にはあんま覚えてない。

確か…アレだろ？

戦い嫌いなダメ人間の沢田綱吉がリボンと会って、マフィアにさられていくって…。

ま、テキトーに過ごそう。

オレが言つと男は花が咲いたような笑顔になり…。

「じゃあ、すぐに行きましょう!」

立ち上がってオレに手を向けた。

「は?ちょい待て…ってホントにすぐかよ!」

オレの全身が白く光り始めた。

絶対今すぐ行くことになんだろ!!

まだ聞きてーことあんのによ!

「それじゃあ、第二の人生楽しんでくださいっ!!」

「」のッッ!!」

次会った時覚悟してろよ

!!!!」

ここでオレは意識を失った。

真っ白な世界：狭間に1人残った神。

「や、やっぱりもうちょい時間かけてからにすればよかった…」

今更後悔している。

だが、もう遅い。

南はこの男、神に次会った時にどうするかを決めているのだ。

「あ、オレの名前教えるの忘れた…」

また後悔が増えた神だった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6945y/>

家庭教師ヒットマンREBORN! 自由な風、来る！～改～

2011年11月21日19時50分発行